

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)						
副教材等	つどい (啓隆社) 自主制作プリント 合唱楽譜等						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野を通して学習します。 ・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進度状況、学習プリント、創作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。 ・音楽の学習は様々な経験を通してこそ価値のある物であり、感性が豊かになります。 ・音楽が将来にわたって、皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。
--

2 学習の到達目標

<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深くかかわる資質・能力を次の通り育成することをめざす。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり、音楽を愛好する心情を育くとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。技能 	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを甘受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分の声を磨く	<p>【歌唱】</p> <p>発声法 校歌 日本の歌曲 外国の歌曲</p>	<p>a:【知】発声の違いによる歌唱表現の特徴について理解している。</p> <p>【技】発声、姿勢や呼吸など、身体を使う技能、言葉との調和を意識して歌う技法を身につけ、歌唱で表現している。</p> <p>b:自分の声、楽曲のリズムや旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。</p> <p>c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 ワークシート 演奏発表</p>	<p>演奏発表 振り返り レポート</p>	<p>観察 ワークシート</p>
	リズム表現を楽しむ	<p>【器楽】 カホン カホンの基本的な奏法 リズムの読譜・記譜</p> <p>【創作】 リズム例を元に、自分のリズムをつくる</p>	<p>a:【知】音の長さや音符の組み合わせによるリズムとカホンの基本的な奏法について理解している。</p> <p>【技】リズム譜を読譜し、正確に演奏するための技術を身に付けている。</p> <p>b:リズムを知覚し、その働きや効果を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもっている。</p> <p>c:リズムの特徴、反復や強弱によるリズム表現の効果に関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>ワークシート 演奏</p>	<p>演奏 作品</p>	<p>観察 振り返り レポート</p>

※令和4年度以降入学生用

1 学期	音楽を聴く力を養う	<p>【鑑賞】 「青少年のための管弦楽入門」</p>	<p>a: 【知】 管弦楽で扱われる楽器の種類や個々の音色、管弦楽の編成について理解している。</p> <p>b: 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きや効果を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>c: 楽器の音色、変奏とフーガで繰り返される旋律の特徴、楽器の組み合わせや編成上の効果による合奏の響きに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	ワークシート	ワークシート 観察	振り返り レポート
2 学期	ハーモニーを作る	<p>【歌唱】 混声四部合唱曲</p>	<p>a: 【知】 自分のパートの旋律と他パートとの関わりについて理解している。【技】 他パートとの調和を意識し、歌唱で表現している。</p> <p>b: 自分のパートの旋律、他パートの旋律、またそれらの調和を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。</p> <p>c: 自分のパートと他パートで創り上げるハーモニーに関心を持ち、主体的・能動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	観察 ワークシート 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 振り返り レポート

※令和4年度以降入学生用

2学期	ギター入門	<p>【器楽】ギター 「カノン」</p>	<p>A:【知】基本的な奏法と曲想と音色や奏法との関わりについて理解している。</p> <p>【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方の技法を身につけている。</p> <p>b:ギター演奏に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って演奏を創意工夫している。</p> <p>c:ギターの音色と奏法に興味関心を持ち、主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしている。</p>	演奏	ワークシート 演奏	観察 振り返り レポート
	日本音楽に触れる	<p>【器楽】箏または三線 基本的な奏法と唱歌</p> <p>【鑑賞】 ・古典の楽曲 ・現代の曲</p>	<p>a:【知】箏・三線の構造や基本的な奏法、文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>【技】箏・三線の音色を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、演奏で表している。</p> <p>b:箏・三線の音色や音階を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。</p> <p>箏・三線の音色や音階によって生まれる音楽の良さや価値について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。</p> <p>c:日本音楽の文化や歴史的背景に興味関心を持ち、主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組もうとしている。</p>	ワークシート 演奏	ワークシート 演奏	振り返り レポート 観察

※令和4年度以降入学生用

3学期	世界の音楽を知る	<p>【鑑賞】 アジアの弦楽器</p>	<p>a:【知】楽器の構造や音の出る仕組み、奏法、それぞれの楽器の音色や楽器の特徴を理解している。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c:アジアの音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、表現の特徴について関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	クラス別発表会	<p>【歌唱】 クラス別自由曲 全体合唱曲 【鑑賞】 相互の演奏発表</p>	<p>a:【知】曲想と音楽の構造やについて理解している。【技】他者との調和を意識して歌う技能を身につけ、歌唱で表現している。 b:自分のパートの旋律、他パートの旋律、またそれらの強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持ち、歌唱表現を創意工夫している。ハーモニーを知覚し、その働きを感じ、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:ハーモニーを創り上げることに関心を持ち、主体的・能動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	演奏発表	ワークシート 演奏発表	振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	MOUSA2 (教育芸術社)						
副教材等	つどい (啓隆社) 自主制作プリント 合唱楽譜等						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野を通して学習します。
 ・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進捗状況、ワークシート、作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。
 ・合唱や合奏の発表を大きな目標として、みんなで音楽を創り上げる喜びを共感しましょう。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と鑑賞の能力を伸ばす。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	正しい発声法で日本や外国の歌曲を歌う 独唱)	【歌唱】 発声法・呼吸法 日本、外国の歌曲	○	○	○	○	a:独唱にふさわしい発声の特徴や、音楽を形作っている要素、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりに関心を持ち、自分なりのイメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じ取り、どのように歌うかについて表現意図をもってしている。 c:曲想を歌詞の内容とのかかわりを感じ取り、独唱にふさわしい発声や自分なりのイメージを持って音楽表現をするために必要な技能を身につけている。 d:総合的な芸術表現の特徴や、楽曲の文化・歴史的背景を理解し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを総合的に味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた批評活動に生かしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	三線について	【器楽】 三線の基本的な奏法と弾き歌い 【鑑賞】 沖縄民謡にふれる	○	○	○	○	a:沖縄の音楽の文化的・歴史的背景や、三線と人々の生活との結びつきに関心をもち、意欲的に弾き歌いをしようとしている。 b:三線の基本的な奏法や沖縄民謡の特徴を理解し、個性豊かな表現ができるように創意工夫している。 c:三線の基本的な奏法や、沖縄民謡の特徴を生かした弾き謡をするために必要な技能を身につけている。 d:三線の文化的・歴史的背景、沖縄の状況を理解し、創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	ギターの伴奏法	<p>【創作】</p> <p>コードの理解とコードに載せたメロディーの創作</p>	○	○	○	○	<p>a:ギターコードとの関わりに関心を持ち、創作に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:感性を働かせて、ギターコードの特徴を感じ取り、創造的に創作を工夫している。</p> <p>c:コードによるメロディーの創作に自己のイメージを持ち、創造的な表現をするために必要な技能を身につけている。</p> <p>d:創作した作品を客観的に理解し、より改善できるように努められる。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>演奏の聴取</p>
2学期	ミュージカルを上演しよう	<p>【歌唱】</p> <p>独唱・合唱を生かしてミュージカルを作る</p>	○	○	○	○	<p>a:ミュージカル作品のストーリーやナンバー、演出など、作品を構成するものに興味を持ち、作品の上演にむけて主体的、共同的に取り組んでいる。</p> <p>b:ミュージカルを形作っているパートやその役割を知覚し、その働きを意識しながら、どのように表現をすべきか表現意図をもっている。</p> <p>c:表現意図にあった歌唱の技術を身につけ、ストーリーにあった表現を創造的に表現している。</p> <p>d:登場人物の役割やパートによる音の重なり方、演奏者による表現の特徴やよさを味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた表現活動に生かしている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>演奏の聴取</p>
	総合芸術に触れる	<p>【鑑賞】</p> <p>オペラ作品</p>	○			○	<p>a:オペラや作品の文化的・歴史的背景に関心を持ち、意欲的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p> <p>d:オペラの特徴や作品の文化的・歴史的背景、社会の状況などを理解し、創造的に味わって視聴している。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p>

3 学期	豊かなハーモニーを作る	【歌唱】混声合唱	○	○	○	<p>a:各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、全体の調和を考えて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心を持ち、共通のイメージを持って楽曲にふさわしい合唱表現をしようとしている。</p> <p>b:各パートの重なりや音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら音楽表現を工夫している。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解し。楽曲にふさわしい音楽表現になるように工夫している。</p> <p>c:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するための技能を身につけ、創造的に表現している。・曲想と歌詞が表現する情景や心情をかかわらせて感じ取り、それらを生かして表現するために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ヴァイオリンに挑戦	【器楽】 ヴァイオリン 「きらきら星」	○	○	○	<p>a:ヴァイオリンの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。</p> <p>c:「きらきら星」を演奏するための基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:知識・理解

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	音楽Ⅲ（教育出版）						
副教材等	つどい（啓隆社） The Basic of Music						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野を通して学習します。・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進度状況、学習プリント、創作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。

・音楽の学習は様々な経験を通してこそ価値のある物であり、感性が豊かになります。

・音楽が将来にわたって、皆さんの心の支えと成り、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本や外国の歌曲を歌う	【歌唱】 ソルフェージュ 日本、 外国の歌曲の独唱	○	○	○	○	a:自分の声の特徴を活かして、豊かな表現に努めたか。・歌詞の意味を理解し、より美しく歌おうとしている。 b:楽曲にふさわしい豊かな表現を工夫し、表現方法を追究しようとしている。 c:楽曲構成を把握し、リズム、フレーズなどを正しく表現できる。 d:楽曲の特徴をつかみながら、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	創造的な表現	【創作】 童謡の伴奏付け	○	○	○		a:童謡にふさわしい伴奏付けに意欲的である。 b:童謡のメロディーやフレーズにふさわしい伴奏を創造的に工夫している。 c:童謡の伴奏付けをするための理論、記譜法や演奏技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	弦楽合奏	【器楽】 ヴァイオリン ヴィオラ チェロ	○	○	○		a:弦楽合奏の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c:弦楽合奏をするために弦楽器の基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取 観察

2学期	豊かなハーモニーを作る	【歌唱】 混声合唱曲を歌う	○	○	○	○	<p>a:各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、全体の調和を考えて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心を持ち、共通のイメージを持って楽曲にふさわしい合唱表現をしようとしている。</p> <p>b:各パートの重なりや音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら音楽表現を工夫している。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解し、楽曲にふさわしい音楽表現になるように工夫している。</p> <p>c:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するための技能を身につけ、創造的に表現している。</p> <p>d:各パートの役割や音の重なり方、演奏者による表現の特徴やよさを味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた表現活動に生かしている。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	アンサンブル	【器楽】 さまざまな楽器形態によるアンサンブル	○	○	○	○	<p>a:楽譜を見て、音高やリズム、フレーズなどに関心を持ち、意欲的に演奏をしている。</p> <p>b:他のパートの演奏を聴きながら、美しくアンサンブルできるように、音色やタイミング、音のバランスに注意して演奏表現している。</p> <p>c:より美しいアンサンブルをするために、音色を追求し、他のパートとのバランスに注意しながら表現することができる。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	ギター演奏	【器楽】 ギター弾き歌い	○	○	○	<p>a:基礎練習を丁寧に行い、一つ一つの課題に前向きに取り組み、努力をしている。</p> <p>b:伴奏のパターンを聴き取って理解し、スムーズなコード進行を意図している。</p> <p>c:ギター伴奏パターンの手法を生かして、曲想にあった伴奏を演奏することができる。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	歴史に残る名曲 名演	【鑑賞】 交響曲など	○			○ <p>a:様々な作品の文化的・歴史的背景に関心を持ち、意欲的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p> <p>d:様々な特徴や作品・演奏の文化的・歴史的背景、社会の状況などを理解し、創造的に味わって視聴している。</p>	観察 ワークシート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:知識・理解

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「書道 I」 (東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違いなどを学びましょう。
- ・行書から入り、楷書・篆書などの書体や仮名を学んで、筆の弾力を使いこなし、感性を高め、表現と鑑賞の基礎的・基本的な能力を伸ばすことを目指します。
- ・身近に飾れる個性豊かな書作品を作ること達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

- 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。
- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
 - (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
 - (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書写と書道	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校国語科書写の確認をした上で、高校芸術科書道の導入として、基本的な用具・用材や姿勢・執筆法を学び、書表現の多様性について理解する。ペン字も実施する。 	<p>a:書写と書道の共通点と相違点について理解している。書表現をするための基本的な技能を身に付け、表している。</p> <p>b:姿勢・執筆法や用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて幅広く理解し表現している。</p> <p>c:主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p>	ワークシート 作品	ワークシート	振り返りシート 作品
	漢字の書(行書)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。 ・一字書の作品制作を通して、意図に基づいた表現をする。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解する。 	<p>a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりなどについて、書の創造的活動を通して理解を深めている。</p> <p>a:古典に基づく基本的な用筆・運筆や、古典の線質、字形や構成を生かした表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。</p> <p>b:古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現など、書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。</p> <p>c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p>	古典観察シート 作品	古典観察シート	振り返りシート 作品

※令和4年度以降入学生用

一学期	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の鑑賞、言葉の選定、作品制作(顔彩使用) 作品鑑賞を生かして、自身の表現を思い描き、意図に基づいて言葉を選定し、構想と表現を工夫して作品制作する。 ・相互鑑賞会 他者と作品の共有・相互鑑賞を生かして作品制作を行う。 	<p>b:自身の表現の意図に基づいて言葉を考え、選定できている。既得の用筆や運筆を活用して、作品を構想し表現を工夫している。</p> <p>a:既得の知識や技能を効果的に表現している。用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて幅広く理解し表現している。</p> <p>c:漢字仮名交じり文の書の基本的な要素、紙面構成など書の表現性、表現効果に関わることについて、主体的に自身の意図に基づく表現を工夫し表そうとしている。他者の作品について積極的に意見を述べるとともに、自身の作品に対する他者の意見を聞いて、作品をより良いものにしようとしている。</p>	ワークシート 作品	ワークシート 相互批評記録	振り返りシート 作品
	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・姓名印を篆書体で制作する。 ・毛筆とは異なる用具・用材の正しい使い方を理解し慣れる。 ・篆刻の刻し方を理解し、工夫して表現する。 ・色々な字典を利用し、個性的な表現を工夫する。 	<p>a:毛筆とは異なる用具・用材の正しい使い方を理解し、表現する技能を身に付けている。</p> <p>b:篆刻のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。</p> <p>c:篆刻の基本的な要素や表現効果に関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p>	ワークシート 作品	ワークシート	振り返りシート 作品

※令和4年度以降入学生用

	漢字の書（楷書）	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の学習を通して、基本的な用筆法・運筆法を学ぶ。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。 ・各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞する。 	<p>a: 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりなどについて、書の創造的活動を通して理解を深めている。</p> <p>a: 古典に基づく基本的な用筆・運筆や、古典の線質、字形や構成を生かした表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。</p> <p>b: 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現など、書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。</p> <p>c: 漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p>	古典観察シート 作品	古典観察シート	振り返りシート 作品
二学期	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の学習を通して、基本的な用筆法・運筆法を学ぶ。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。 	<p>a: 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりなどについて、書の創造的活動を通して理解を深めている。</p> <p>a: 古典に基づく基本的な用筆・運筆や、古典の線質、字形や構成を生かした表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。</p> <p>b: 古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現など、書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。</p> <p>c: 仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p>	ワークシート 作品	ワークシート	振り返りシート 作品

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「書道Ⅱ」 (東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道の創造的な諸活動を行い、個性豊かな作品を作ることを目指します。
- ・漢字の歴史を追いながら作品を制作し、書の文化と伝統についての理解を深めます。
- ・立体的な書として「刻字」作品を制作し、自己表現の幅を広げます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組みようとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書(書体の変遷)	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書による学習 基本・臨書・鑑賞 甲骨文 小臣觶尊 石鼓文(半切1/2) 	○		○	○	a:篆書の成立やその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:篆書の美を感受し、表現を工夫している。 c:表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:篆書の造形美や特徴を深く理解し、書と文字と文化について幅広く考え、篆書のよさや美しさを味わっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		<ul style="list-style-type: none"> ・隸書による学習 基本・臨書・鑑賞 礼器碑(半切1/2) 	○		○	○	a:隸書の美とその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:隸書の美を感受し、表現を工夫している。 c:表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:書と文字と文化について幅広く考え、隸書のよさや美しさを味わっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		<ul style="list-style-type: none"> ・草書による学習 基本・臨書・鑑賞 十七帖(半切1/2) 	○		○	○	a:草書の成立や特徴について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:草書の美を感受し、表現を工夫している。 c:表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:書と文字と文化について幅広く考え、草書のよさや美しさを味わっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

2 学期	2 字 創 作	<ul style="list-style-type: none"> ・二字熟語による創作作品制作(5書体による書き分け) 半切1/3 相互鑑賞会 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a:学習してきた古典を背景に、漢字作品の制作に意欲的・積極的に取り組もうとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	刻 字	<ul style="list-style-type: none"> ・刻字 書稿制作 籠字 彫る 彩色 仕上げ 相互鑑賞会 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a:立体書としての美の表現に興味・関心を深め、基礎・基本の刀法や表現技法を主体的に身に付けようとしている。 b:刻字の表現分野を理解して感性を豊かにし、創造性豊かな表現の工夫をしている。 c:刻字の表現をするための刀法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:刻字の造形美や刻刀が奏でる立体美を感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
3 学期	カ レ ン ダ ー 制 作	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー制作 作品制作 相互鑑賞会 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a:自分の作品を生活の中の書として捉え、より生活を豊かにするための制作に意欲的・積極的に取り組もうとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

大字書	・大字書 半載	○	○		a:大字書の制作に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:体全体を使って大作を制作している。 d:大作作品のよさや迫力を創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
-----	------------	---	---	--	--	----------------------------------

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「書道Ⅲ」 (東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・書道Ⅰ・Ⅱの授業で学んだことを発展させて、書道の創造的な諸活動を行い、個性豊かな作品を作ることを目指します。
- ・各自が主体的に活動内容を決めて、大きなサイズの作品を制作します。
- ・作品を表装して校内に展示することで、達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組みようとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	作品制作	・漢字・仮名の古典の中から、 選択し、半切サイズに臨書 作品制作 相互鑑賞会	○	○			<p>a:これまでの学習を踏まえ、多様な表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p> <p>b:古典の特徴を理解し、美や美を構成する背景を感じながら、表現を工夫している。</p> <p>c:古典の表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。</p> <p>d:古典の造形美や時代が要求した書体の特徴などを深く理解し、古典のよさや美しさを味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ
2学期	創作作品制作	・漢字・仮名・漢字仮名交じりの書・小字数・篆刻・刻字の中から選択 作品制作(半切サイズ) 相互鑑賞会	○	○		○	<p>a:これまでの学習を踏まえ、創造的な作品制作に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。</p> <p>c:自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。</p> <p>d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ
3学期	表装と展示	・表装と展示 鑑賞会	○		○		<p>a:表装の効果や技法について関心を持ち、主体性をもって意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b:表装の効用を理解し、工夫している。</p> <p>c:表装の効果的な技能を身に付け表している。</p> <p>d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度
c:創造的な書表現の技能

b:書表現の構想と工夫
d:鑑賞の能力

- ※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「美術 1」 (光村出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・周囲と自分の関りや新たな気づきが表現につながることを留意しながら学習を進めます。
- ・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の扱い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
- ・作品完成後は振り返りレポートや相互批評を行い作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

2 学習の到達目標

- ・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
- ・造形的な良さや美しさ、表現の意図や創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
- ・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	形や色彩、素材などの造形的特徴を捉えて主題に沿った表現が行えているかや、材料や用具の特性を活かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて感じたことや考えたことを創造的に表現できているか、また、他者の作品の良さを理解し自身の作品への客観的視点が養われているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気付きや視点を表現に組み入れながら活動に取り組んでいるかを評価します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	浮いた立方体を描く	<p>【絵画】【鑑賞】</p> <p>1、主題の設定 与えられたモチーフについて形態について理解し、影のつけ方などイメージを明確にする。</p> <p>2、制作 鉛筆や消しゴム等の材料を活かしてグレースケールを作成し、表現方法を工夫し表す。</p> <p>3、鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートやスライドを使い相互批評しあう。</p>	<p>a: (知識) 立方体の形態や光と影の成り立ちといった特徴を把握できているか。</p> <p>(技能) 意図に応じて材料や用具の特性を活かすとともに陰影のつけ方等表現方法を工夫して主題を追及できているか。</p> <p>b: (発想や構想) 造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。</p> <p>c: 振り返りシートをもとに主体性を持って活動や取り組みについて記入することができる。</p>	ワークシート 作品	取り組み状況	ワークシート 取り組み状況
	四季・夏のイメージ	<p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩基礎 ・色彩構成 <p>画用紙にアクリルガッシュで着色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏のイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 	<p>a: (知識・技能) 四季のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとする。アクリルガッシュ絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して目的や計画をもとに表現している。</p> <p>b: (発想や構想) 条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。</p> <p>(鑑賞) 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。</p> <p>c: 自身のイメージからアイデアスケッチや下描きから構想を練り表現に結び付けることができたか。鑑賞や振り返りシートで主体性を持って取り組むことができたか。</p>	ワークシート 作品 振り返りシート	取り組み状況 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

<p>2学期</p>	<p>クレイアニメに挑戦</p>	<p>【映像メディア表現】【鑑賞】</p> <p>1、アニメーションについての理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションの特性や作品について参考となる教材を通して理解を深める。 <p>2、主題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土で作るアニメーションについて主題を考え構想を練る。 <p>3、制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマ撮りアニメの特性を生かして4色粘土を使用してiPadを使用し、一コマずつ撮影しアニメーション作品を作成する。 <p>4、鑑賞</p> <p>お互いの完成作品を振り返りシートをもとに発表しあい、作者の心情や表現の工夫などについて共有する。</p>	<p>a: (知識・技能) アニメーションづくりを目的としアプリを使って表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に積極的に取り組む。</p> <p>b: (発想や構想)</p> <p>造形的な見方、考え方を働かせて感じとったことや考えたことを創造的に表現できているか。</p> <p>(鑑賞)</p> <p>他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。</p> <p>c:動きを表現する際に何度も試行錯誤し主体性をもって取り組むことができたか振り返りシートを使って確認する。</p>	<p>ワークシート</p> <p>作品</p> <p>振り返りシート</p>	<p>取り組み状況</p> <p>振り返りシート</p>	<p>ワークシート</p> <p>取り組み状況</p> <p>振り返りシート</p>
	<p>スクラッチ技法による人物を描こう</p>	<p>【絵画・彫刻】【鑑賞】</p> <p>1、対象の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象とする人物を選び、その特性や顔の特徴をつかむ。 <p>2、構想を練る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒い画面からニードルで削ることで明るさを表現し、立体的に表現できることを理解する。 <p>3、完成のイメージをもとにスクラッチ技法で明暗を的確に表現できる。</p>	<p>a: (知識・技能)</p> <p>多様な絵画表現に興味関心を持ち、対象について描き表現することができる。また、人物画をはじめ様々な表現方法について知ることができる。</p> <p>意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。</p> <p>b: (発想や構想)</p> <p>写真をもとに人の表情等細かな部分まで観察することができる。</p> <p>(鑑賞)</p> <p>他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。</p> <p>c:主体性をもって取り組むことができたか振り返りシートを使って確認する。</p>	<p>ワークシート</p> <p>作品</p> <p>振り返りシート</p>	<p>取り組み状況</p> <p>振り返りシート</p>	<p>ワークシート</p> <p>取り組み状況</p> <p>振り返りシート</p>

※令和4年度以降入学生用

3学期	動くおもちゃづくり	<p>【立体・デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動くおもちゃをテーマに仕組みを理解し展開図を作成し、カードフォルムを使用して作成する。 ・主題をもとに材料や用具を工夫して作成することができる。 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が作ったものや他者の作品について理解し、良さを感じることができる。 	<p>a: (知識・技能)動くおもちゃについてどんなものがあるか調べ、しくみについて考えることができる。</p> <p>b: (発想や構想)動くおもちゃについて動きの仕組みを理解し条件にあったおもちゃを考えることができる。</p> <p>紙素材を活かし表現方法を工夫して条件や計画を基に制作している。</p> <p>(鑑賞)他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、一人ひとりの作品の違いを認識し理解しようとする。</p> <p>c:動きと連動したおもちゃ作りについて何度も試行錯誤し主体性をもって取り組むことができたか振り返りシートを使って確認する。</p>	ワークシート 作品	取り組み状況	ワークシート 取り組み状況
				振り返りシート	振り返りシート	振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「美術2」(光村図書)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

○自然、自己、社会などを深く見つけ創ろうとする作品の主題を生成し心豊かに創造的な表現をする「絵画・彫刻」と、自然、自己、社会などを深く見つけ創ろうとする作品の主題を生成し生活を美しく豊かにする創造的な表現の「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。

○主題に合った表現方法の工夫、表現形式の選択、表現材料の工夫、目的や条件を踏まえたデザイン効果などを心がけ、心豊かに創造的な表現に取り組みましょう。時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通性を知り美術文化の理解を深めましょう。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つけ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な観点から創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術Ⅱの学習について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅱの授業内容を認識する。	◎			◎	a: 1年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めようとする。 d: 美術作品の価値や世界の多様性を知り美しさやよさの質を探り美術文化の理解を深めようとする。	学習活動の様子 ワークシート
	絵画表現	「絵画」 ・鉛筆を使って目の前の対象を形や質感・明暗を表現する。	◎		○	◎	a: 対象物の形態や表情についてとらえようとしている。 意図に応じて材料や用具の特性を活かすことができている。 c: 幅広い表現方法を身につけるため鉛筆の使い方や特性、消しゴムについて学ぶことができる。 d: 相互に作品を鑑賞し良さを見つける。	ワークシート 制作の様子 作品
	「フェスティバル」をテーマにモダンテクニック	[絵画・デザイン] ・テーマをもとにモダンテクニックの手法を利用しながら主題を生成する。 ・主題を基に構想を練り、アイデアスケッチなどにより自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・表現の意図に応じた材料や用具を吟味して使い、主題を追及し、やり切る。 [鑑賞] ・作品の制作意図について発表し、良さについて確認しあう。	◎	○	○		a: 「フェスティバル」というテーマを基に感じ取ったことや考えたことなどから、主題を生成することができる。 b: 色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。 c: モダンテクニックの表現を活かして目的や意図に応じて材料や用具の特性や効果を生かす工夫をしている。 d: テーマに沿った表現が工夫されているかどうか、主題に合わせて色や構図が考えられているか、作品の良さを感じ取ることができる。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

2 学期	彫刻表現	<p>[絵画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の手をモチーフに構造を理解し鉛筆でデッサンをする。。 ・彩玉ボードに手のスケッチを転写し彫刻刀を使ってレリーフ状になるよう表現する。 <p>[鑑賞]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互に作品を鑑賞しあう。 ・西洋や東洋(日本)の彫刻美術について鑑賞し、宗教や文化について美術的価値観などを考えさせる。 	◎	○	◎	◎	<p>a: 多様な素材の彫刻表現に興味関心を持ち、対象について理解し表現することができる。また、西洋の大理石の彫刻や日本の仏像をはじめ様々な美術作品にも興味を持つことができる。</p> <p>b: 自身の手を構造から知り、理解しスケッチや立体で表すことができる。</p> <p>c: 彫刻刀の正しい使い方を理解し、意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。</p> <p>d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、一人ひとりの作品の違いを認識し理解しようとする。西洋や東洋(日本)の彫刻美術について鑑賞し、理解を深めることができる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>作品</p> <p>鑑賞活動の様子</p> <p>鑑賞ワークシート</p>
	絵画表現	<p>[美術・日本画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜や果物を自由に組み合わせスケッチを行う。 ・スケッチをもとにイメージを膨らませ構想を練る。 ・日本画材料について理解し、制作意図に応じて材料や用具の特性を活かし表現する。 <p>[鑑賞]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互に鑑賞し、自身の作品について客観的に見ることができ、他者の良さを発見する。 ・日本美術について当時の美術文化や価値観などを考える。 	◎	◎	◎	◎	<p>a: 多様な絵画表現に興味関心を持ち、対象について観察し描き表現することができる。また、日本の伝統的な美術表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。</p> <p>b: スケッチをもとに構想を膨らませ主題を生成している。</p> <p>c: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して主題を追求して表現している。</p> <p>d: 他の生徒の作品をのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、一人ひとりの作品の違いを認識し理解しようとする。</p>	<p>ワークシート</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>作品</p>

	重力をテーマに写真で表現する	[映像メディア表現] ・「重力」をテーマにスマートフォン、デジタルカメラ等を使って写真におさめる。 ・テーマに沿った内容になるよう演出する等工夫する。	◎	◎	◎	○	a: カメラで撮影する内容についてテーマ「重力」を表せるよう身近なところから構想を練ることができる。 b: 目的や条件について考え主題を生成し構想を練り制作することができる。 c: 表現に活かすためにカメラを適切に使用し構成を表現につなげることができる。 d: 他者の作品発表を見て良さを感じ取ることができる。自身の作品について説明し伝えることができる。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
3学期	版画表現「カードづくり」	[版画] ・「北海道」をテーマに凹版を利用した紙版の制作する。 ・贈る人について思いを馳せたりするなど、主題に合わせてカードの形を考える。 ・出来上がった作品について自由に鑑賞し良さを確認しあう。	◎	◎	◎	○	a: 条件の中で他者に喜んでもらえるものを意識して考えることができる。 b: 凹版の印刷の仕組みを理解し版画表現をすることができる。 c: 紙の材質を生かし工夫して贈られて喜んでもらえるような工夫をすることができる。 d: 出来上がった作品についてお互い自由に見て意見を伝える。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品 ワークシート

※ 表中の観点について a…美術への関心・意欲・態度 b…発想や構想の能力
c…創造的な技能 d…鑑賞の能力

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付け、重点的に評価を行う観点には○を付けている。

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	美術3（光村図書）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

○創ろうとする作品の独創的な主題を生成し個性を生かし創造的な表現を行う「絵画・彫刻」と、創ろうとする作品のデザイン効果を考えて主題を生成し表現を行う「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。

○限られた条件の中での表現方法の応用と、二次利用についてのデザインを心がける。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術Ⅲの学習内容について	<p>[鑑賞]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション <p>教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅲの授業内容を認識する。</p>	◎			◎	<p>a: 2年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めている。</p> <p>d: 作者の主張、作品と時代や社会とのかかわりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読み取り味わっている。</p>	学習活動の様子
	絵本「デザイン」について	<p>[絵画・デザイン]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本について市販されているものから幼児向けのものについて考察し、意図に応じて材料や用具の特性を活かしたものを考えることができる。 ・見開き6ページの幼児向けの絵本を制作するため各自で主題を考え制作することができる。 ・各自の主題に合わせて画材や表現方法を考え取り組むことができる。 <p>[鑑賞]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を読み聞かせ発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。 	◎	◎	◎	◎	<p>ab: 幼児向けの絵本について関心を持ち構成や色彩、伝え方について考え自身の制作に活かせるよう構想を練ることができる。</p> <p>c: 制作しようとする絵本の対象とする年齢を意識するなど条件に合わせた表現方法を考え工夫することができる。</p> <p>c: 作品について読み聞かせできるように文章や大きさ、フォントに工夫がされている。</p> <p>d: 他の生徒の作品などのよさや、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞活動の様子や発言内容</p> <p>鑑賞ワークシート</p>

2学期	デザイン・ポスター情報の視覚化	<p>[デザイン]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B2の大きさで、SDGsの目標をテーマに、図やイラストを用いてポスターデザインする。 ・情報を整理し、文字の色や形、モチーフについて効果的に用いて、ポスターとしての伝達方法を工夫する。 <p>[鑑賞]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。 	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	<p>a:大きな作品に意欲を持って取り組んでいる。</p> <p>b:SDGsをテーマに、主題を生成し、伝わり働きかけに向かうよう工夫した表現の構想を練っている。</p> <p>c:主題に合った表現方法をもとに、形や色、素材を効果的に工夫して表現しようとしている。</p> <p>d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取っている。</p>	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート	
3学期	油絵	<p>[美術]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油絵の技法を使って「高校生活の思い出」について自由に構想を練り表現する。 ・できた作品について相互で批評する。 	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	<p>a:油絵技法を利用し色彩や表現を工夫しながら意欲的に取り組んでいる。</p> <p>b:「高校生活の思い出」というテーマから自由に発想し自身の思いを言説化でき創造的な作品作りを行おうとしている。</p> <p>c:テーマに沿った表現技術について自分なりの表現をしようとしている。</p> <p>d:出来上がった作品の良さについて批評し合い今後の制作に活かすことができる。</p>	ワークシート 取組み状況 制作の様子 作品 鑑賞発表

※ 表中の観点について a…美術への関心・意欲・態度 b…発想や構想の能力
c…創造的な技能 d…鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付け、重点的に評価を行う観点には○を付けている。